



THE GOSPEL NEWS

在日大韓基督教会  
宣教100～110周年標語  
감사의 백년, 소망의 백년  
感謝の百年、希望の百年  
(데살로니가전서 5:18)

2014年2月1日(土) 第727号

発行所 **福音新聞社** (1部100円)  
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18  
☎ 03-3202-5398  
発行人/趙重來・編集人/金柄鎬

fukuinshinbun@kccj.jp (福音新聞)

## ＜第52総会期 新任員＞ 韓国宣教協約教団訪問



2013年12月16日～20日、第52回総会期で選ばれた新任員団は、本総会と宣教協約を結んでいる韓国の各教団を訪問した。

総会長である趙重來牧師(船橋教会)をはじめ、副総会長金性濟牧師(名古屋教会)、副書記趙永哲牧師(大阪北部教会)、そして総幹事金柄鎬牧師が同行し、日程の都合上会うことができなかった大韓イエス教長老会(大神)を除いて、6つの教団本部を訪問して、今までも、これからも良き宣教的協力関係であることを再確認することができる有益な時間をもった。

さらに、韓国基督教教会協議会(NCCK)を訪問して相互協力について意見を交わした。また讃頌歌公会を訪問して21世紀韓日讃頌歌の出版についてこれからの方向性と協力を要請した。

なお、大韓聖書公会を訪問し、韓日対照聖書の在庫状況と日本への提供と搬入に関する協議を行った。

各教団総務会議は、20日の朝食に行われたが、2014年9月29日(月)～10月1日(水)に「KCCJ宣教協約7教団宣教協議会」を日本で開催することを話し合った。

また新任員団は、ソウルに到着した初日の夕方、本総会を引退した後、ソウル近郊で暮らしている慶恵重牧師、李俊鶴牧師、そしてアジアキリスト教協議会(CCA)総務を歴任した朴相増牧師を晩餐に招待し、慰め合う一時を持った。

そしてソウル滞在中に、韓国エキュメニカル運動の大きな指導者であった姜文奎先生の召天の知らせを聞き、一同は弔問した。

(報告：編集部)

## ＜全国女性連合会電話相談＞ セットン・心のケア公開講座

去る2013年11月29日(金)大阪教会3階において、全国教会女性連合会電話相談局主催「心のケア公開講座」が行われた。講師に白承豪弁護士(神戸教会長老、神戸セジョン外国法共同事業法律事務所)を迎え、「DV(ドメスティック・バイオレンス)法韓国の場合、日本の場合」のテーマで参加者は26名であった。

心のケア公開講座は電話相談員のための学びから発展し、一般向けの様々な心のケアにかかわる講座を月1回のペースで行ってきた。女性のための電話相談窓口を開くなかで、日本の女性の置かれた状況、DV被害者のケアや心理などについては学ぶ機会があったが、法律面から学ぶ機会は少なく、また韓国の状況については知らないことも多く、充実した講座となった。



韓国での家庭内暴力は日本の5倍と聞いて一同衝撃を受け、何とかしたいという声もあった。少数ではあったが男性の受講者もあり、男女がともに考え、どのように対処するかを学ぶ機会がこれからも必要だと感じた。以下に参加者の声を紹介する。

「もっと奥深いところの人間間の支配、人権蹂躪(じゅうりん)状態について学ぶ機会が必要に思えた」。

「DVとは『この能なし!』、『(ため息をつきながら)にらむ』、『おどす』、『外出を(無言の圧力で)禁じる』等々の行為が日常的にあること。その異常性や加害者の人格の偏りについて深く思いをはせてみて、その対応を教えていくべき」。

「最近ストーカーや、復縁のための殺人事件が多すぎて社会が病んでいると強く思う」。

(報告：林淑子)

## ＜書評・翻訳・広告＞

### 『日本人が見た驚くべきキリストの国、韓国』



2012年、日本基督教団の牧師である鈴木崇巨先生が著術した『なぜ韓国はキリスト教国になったか』(春秋社)という単行本がこのたび、韓国で『日本人が見た驚くべきキリストの国、韓国』という題でソウルのクムラン出版社から出版されました。

本の内容は日本のキリスト者の立場から見た韓国のキリスト教の驚異的な発展です。韓国の近世の歴史において、「一国のキリスト

者の人口が極めて短い期間に国家人口の30%を超えることとなれば、それは大きな社会変動として評価されるべきことだ」ということです。このような「大きな社会変化の中心にある韓国の教会を日本人が看過することはできない」という主張が著者の基本趣旨であります。

この本は次の3つのことを具体的に、また感動的に展開しています。第一は、韓国の宣教過程を年代に合わせながら、体系的に、また感動的に説明しています。この点は韓国のクリスチャンにも良い参考になると思います。韓国の地に迫害の歴史として、キリスト教が伝来されて、殉教の血、植民地の苦難、同族の戦争、その後の民主化への闘いの路程で、国民のよりどころとして定着していく韓国教会の道程を深く、また正確な年代の記録を紹介しています。

第二は、韓国の教会の誇りの遺産である早天祈祷会、宣教、教会の社会奉仕等が韓国教会の宣教の原動力、教会成長のエンジンになった経緯を紹介しています。これらは韓国のキリスト者にも韓国教会の歴史、教会の大切さをもう一度認識させる契機を作っています。

第三は、日本人の著者は日本の文化と教会の環境のなかで、韓国を見ている。韓国を理解する本ですが、日本人の著作ですので、日本と日本の教会が分かるということで、日本宣教を助ける良い本だと思えます。さらに、覚えておくべき韓国教会のいろいろなことが歴史的に整理されていて、この本は私たちの宣教環境の日本を理解できるようにする有益な本だと思えます。(報告：金仁果牧師、岐阜教会)

※この本が必要な方は、金仁果牧師(058-232-0925)にご連絡をお願いします。

## 東京教会副牧師及び教育伝道師の招聘

- \* 副牧師 : 1名
- \* 教育伝道師 : 若干名
- \* 資格条件: 日本語と韓国語、両方出来る方。(共通)  
日本語の説教が出来る方(副牧師)
- \* 提出書類(共通)・履歴書(写真貼付)・  
必ず信仰暦と奉仕暦を記入してください。  
・自己紹介書(A4 2枚分量)
- \* 募集期間: 2014年1月14日~2月8日まで
- \* 提出方法: 郵便又はEメールで提出  
(提出前に教会に連絡要望)
- 住 所: 〒162-0827 東京都新宿区若宮町24番地  
E-mail: [guide@tokyochurch.com](mailto:guide@tokyochurch.com)
- \* お問い合わせ: 03-3260-8891(事務所)

在日大韓基督教会 東京教会

## 福音新聞 資料募集

在日大韓基督教会100周年誌作成(執筆)のため歴史編纂委員会では、資料補完のため1953年~1979年(70号~360号)までの福音新聞(資料)を募集しております。

貴教会、各地方会においてそれらの資料が現存するのであれば何卒、ご協力していただきますようお願い申し上げます。

宛先: KCC 気付、歴史編纂委員会

住所: 〒544-0032 大阪府大阪市生野区中川西2-6-10

Tel 06-6731-6801 Fax 06-6718-0988

## 境内建物新築についての公告

宗教法人「在日大韓基督教会」規則43条で定める手続きを経て、下記のとおり境内建物の新築をすることになりましたので、宗教法人法第23条の規定により公告します。  
2014年2月1日

信者及びその他利害関係者 各位

宗教法人「在日大韓基督教会」  
代表役員 趙 重 来

記

1. 建物の名称: 在日大韓基督教会津田沼伝道所  
(船橋市前原東三丁目365番18、23、37、73)
2. 延べ床面積: 111.79㎡
3. 理由: 老朽化のため建替
4. 経費: 15,865,000円
5. 施工者: 一建設株式会社  
(千葉県千葉市中央区末広5-3-5)
6. 工事計画: 木造サテライトカラーベストコロニアル葺2F  
(竣工予定日: 2月23日)

在日コリアン文化の創造と多文化共生社会を目指して、在日本韓国YMCAは皆様と共に歩みます。



東京◆ホテル: 東京で一番安く便利な宿泊研修施設。フロントは日・韓・英語に対応、24時間営業。10名様~200名様の会議及び宿泊研修(50名)も可能。  
・スペースYホール: 200席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに対応。  
・韓国文化教室【チャング・カヤグム・舞踊】・韓国語講座・各種こどもクラス  
・YMCA東京日本語学校【3ヶ月~2年、短期研修】

関西◆にほんご教室《新規開講・募集中》韓国民俗芸術科【舞踊・チャンゴ】

在日本韓国YMCA <http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/>

東京韓国YMCAアジア青少年センター 〒101-0064

関西韓国YMCAアジア青少年センター 〒537-0025

※会員及び教職者割引有。詳しくはお問い合わせください。

東京都千代田区猿樂町2-5-5 ☎03-3233-0611

大阪市東成区中道3-14-15 ☎06-6981-0782

税 込	平 日	休・休前日
シングル	¥6,500	¥6,000
ダブル	¥10,500	¥9,700
トリプル	¥13,500	¥12,500
朝食・コーヒー¥200(宿泊者価格)		



## とうほく移住者フォーラム：2013

### 震災復興は多文化共生から



2013 年 11 月 30 日、「とうほく移住者フォーラム：2013－震災復興は多文化共生から－」が東北学院大学土樋キャンパスで開催された。主催は外国人被災者支援センター（外キ協）、共催は東北学院大学地域共生機構、後援は在日大韓基督教会／日本キリスト教会、賛同は日本カトリック中央協議会／日本カトリック難民移住移動者委員会／日本キリスト教協議会在日外国人の人権委員会／日本聖公会／在日本韓国 Y M C A／関東外キ連／北海道外キ連／移住労働者と連帯する全国ネットワーク／神戸学生青年センター／反差別国際運動日本委員会となり、これまで連携してきた諸団体が結集した。会場には、岩手・宮城・福島県の移住者グループをはじめ 80 人が参加した。

まず、郭基煥・東北学院大学教授が「東日本大震災と外国人・日本人住民間の関係——語り継がれるべきものは何か、変えられるべきものは何か」という題のもと、基調報告を行なった。報告の中では、東日本大震災において災害弱者として考えられがちな外国人の実態は具体的にどのようなものだったのかを、実際に面接してきた人の話を紹介しつつ、宮城県石巻市と気仙沼市でのアンケート調査からわかってきたことや今後の課題を、私たちに提示してくれた。

その後、被災地の外国人コミュニティから、城坂愛（福島県須賀川市／つばさ日中ハーフ支援会）、後藤キャサリン（福島県福島市／ハワクカマイ福島）、Marife Sugawara（岩手県大船渡・陸前高田市／PAG-ASA）、佐々木アメリカ（宮城県南三陸町／サンパギータ F.L 多文化協会）、馬嘉利（福島県／会津若松市国際交流協会）という 5 人の代表者を招き、移住女性を中心とする各コミュニティの活動報告の時間が持たれた。

報告の中では震災以降どのような活動が行なわれているのかを紹介しつつ、人員や資金の不足など、それぞれが直面している課題について率直に述べてもらった。

報告が終わり、休憩の時間が持たれた。今回のフォーラムでは、関西や関東など遠方からも多くの研究者、N G O、教会関係者などが来ていたので、その紹介と交流を行なった。この時間は外国人コミュニティの話を聞くだけでなく、実際に顔合わせをしてこれからの活動のために関係を作っていくうえで非常に重要な時間であった。

交流の時間を終えた後、フォーラム参加者を含めた全体討論が行なわれた。会場からも多くの質問が投げかけられ、また報告者たちからも多くの意見が提示され有意義な時間となった。最後に佐藤信行（外国人被災者支援センター長／R A I K 所長）により、「とうほく移住者フォーラム宣言」が提案され採択された。

東日本大震災から 2 年 8 カ月、つまり 1000 日が過ぎた。そして今もなお被災地でもがいている人びとがたくさん暮らしている。今回のフォーラムで印象的だった言葉がある。それは外国人コミュニティの活動報告で語られていた言葉だった。「外国人として差別を受けたとは思わない。文化の違いがあるだけだ」というものだった。日本人と結婚し東北の地に長く住んでいても、自分たちが揶揄されてしまうことを文化の違いとして考え、自分自身を納得させなければ生きていけないという状況が存在していることを示すとともに、今の日本社会が外国人に向ける眼差しを明確に表わしている言葉だったと思う。それらを払拭するためには、移住者だけが頑張るのではなく、私たちも含め、ともに変えていかなければいけないということを強く意識させられた。そして、被災地において 2 年間、大切な活動をしてきた外国人被災者支援センターの働きは、外国人と共に生きていく社会を作っていくためにはとても意義深いものであったのだと気付かされた。

（報告：金在源、川崎教会／R A I K 研究員）

**\*外国人被災者支援センターの活動については、  
<http://gaikikyo.jp/shinsai/> をご覧ください。**

### 新刊 礼式書 改訂版

- ・韓国語・日本語対照
- ・すべての礼式に応用
- ・全国の個教会で活用可能
- ・1冊 2,000円（送料別）
- ・お問い合わせ：総会事務所

03-3202-5398

在日韓国・帰化人・再婚希望者専門

### 芦田ルツ結婚相談所

祈りと心尽くして！

出会いからご成婚までお世話いたします。

代表：崔貞淑（神戸東部教会勸士）

〒659-0012 兵庫県芦屋市朝日ヶ丘町 10-35-504

TEL：0797-34-6814 / FAX:0797-38-6868

URL [www.ar-k.jp](http://www.ar-k.jp) / e-mail: [gen@reboth.jp](mailto:gen@reboth.jp)



豊かな味、豊かな心。

代表取締役 呉永錫（東京希望キリスト教会 長老）

四谷本店：東京都新宿区四谷3-10-25 Tel. 03-3354-0100

## ＜西部地方会＞ 信徒部主催 「第11回信徒の集い」開催

2013年11月24日、神戸教会に於いて、西部地方会信徒部主催による「第11回信徒の集い」が開催された。開会礼拝では金承熙牧師（西宮教会）が「霊と誠により」という題で説教した。

その後、李炫知会長（西部地方会女性連合会）司会で、今回のテーマである「午後礼拝について」教役者、壮年会、女性会、青年会に分かれてグループディスカッションが行われた。事前に各教会でのアンケートの報告があり、多くの意見が出された。どのグループも共通意見は、午後礼拝の出席者が少ないことである。一同は、今一度午後礼拝についての重要性を考えさせられた。特に青年達の率直な意見を聞いたのは貴重な集いだった。

その後は、愛餐会が始まり、他の教会の信徒たちとの交わりの中で、美味しい食事をいただいた。他の地方会の教会ではどのように午後礼拝を行っているのか、話し合うことも大事であろう。（報告：兪貞恵、書記）



### ＜2014年 総会手帳 訂正＞

2014年度版の総会手帳の住所録について、以下のように間違いがありましたことをお知らせいたします。どうぞ訂正して下さるようお願いいたします。間違って記載された方々に、心からお詫び申し上げます。（総会手帳担当：許伯基牧師）

- ・船橋教会 長老 御代川太郎→ 三代川太郎
- ・東京教会 引退長老 金漢範 携帯電話  
080-6437-510 → 080-4637-5108
- ・関東地方会 地方会所属教役者 李聖柱 電話番号  
+1-425-820-8603 → +1-206-417-3099
- ・大阪教会 伝道師 朴喜煥→副牧師 朴喜煥
- ・折尾教会 住所 807-0866 福岡県北九州市八幡西区日吉台1-2-3 → 807-0001 福岡県遠賀郡水巻町猪熊3-2-16

### 在日総会神学校

## 2014年度 学生募集案内

本校は、一般教育を終了した者が、基本的な神学教育を修め、現代の在日同胞社会の多様性に十分対応できる福音伝道者の育成を目指しています。在日宣教に熱い志しをもった働き手を求めています。

1. 募集人員：5年課程（高卒）、3年課程（大卒）、1年課程（他神学校卒業生：今年度から他神学校卒業生は伝道師試験を受けるためには必ずこの課程を履修しなければならない。）
2. 出願資格：①受洗後、1年以上であること。  
②在日大韓基督教会の正会員（但し、他教団出身者は面接要）  
③伝道者としての召命感があること。  
④高校、一般大学卒業生及び他神学校卒業生
3. 出願期間：2014年1月6日（月）～2014年2月10日（月）
4. 提出書類：①入学願書（本校所定の用紙）  
②志望理由書（400字3枚以内）  
③履歴書（本校所定の用紙）  
④推薦状（所属教会の牧師または機関代表者）  
⑤最終学校の卒業証明書  
⑥最終学校の成績証明書  
⑦写真2枚（3×4cm）
5. 試験：①試験日時：2014年2月13日（木）午後1時  
②試験会場：在日総会神学校（東京都足立区西新井本町4-5-1）  
③試験科目：聖書、英語、面接  
④受験料：10,000円  
⑤合格発表：当日（場合により郵送通知）
6. 特典：①卒業後、伝道師試験を経て、在日大韓基督教会の伝道師として二年間訓練され、牧師試験の資格が与えられる。  
②学費が安い。年間の授業料は15万円  
③総会奨学金の他、各種の奨学金の恩恵がある。  
④寄宿舎が完備されている。（毎月約2万円）  
⑤本国での語学研修制度や宣教協約を結んでいる海外教団の神学校へ留学する機会がある。

※問い合わせ：教務 韓聖炫牧師

電話 03-3890-3365 携帯 080-3355-3890

### フィリピン台風募金現況（単位：円）

豊中第一教会 29,000、長野教会 36,900、新居浜グレース教会 138,000、大阪教会 550,000、和歌山第一教会 219,096、武庫川教会 70,710、京都教会 100,000、つくば東京教会 21,000、名古屋教会 203,300、福岡教会 116,350、三次教会 3,000、東京中央教会 36,500、新儀教会 10,000、布施教会 43,650、船橋教会 34,850、品川教会 20,000、西新井教会 55,500、名古屋永信保育園 88,544、博多伝道所 16,000、堺教会 5,000、明石教会 10,000、西宮キリスト弟子教会 5,000、川崎教会 10,000、浪速教会 10,000、新潟教会 5,000（総会事務所入金順）合計：1,832,844円



クリスチャン教会・企業検索サイト

レホボト・ジャパン

Open!!

10月01日

リニューアル

広告募集開始



「レホボト・ジャパン」  
代表 玄承植

Tel : 090-3945-3373  
e-mail : info@rehoboth.jp

レホボトジャパン

検索







THE GOSPEL NEWS

재일대한기독교회  
선교 100-110 주년 표어  
감사의 백년, 소망의 백년  
( 데살로니가전서 5:18 )

한글판

shinacho2003@daum.net (담당자)

## <제 52 회기 신임원>

### 본국 선교협약교단 방문



지난 제 52 회 총회기에서 선출된 신 임원단이 지난 12 월 16 일부터 20 일까지 본 교단과 선교협약 관계를 맺고 있는 한국의 여러 교단을 방문하고 돌아왔다.

이번 인사 방문에는 신임원인 총회장 조중래목사(후나바시교회), 부총회장 김성제목사(나고야교회), 부서기 조영철목사(오오사카북부교회)와 종간사 김병호목사가 동행하였으며, 일정이 맞지 않았던 대한예수교장로회(대신) 교단을 제외한 6 개 교단을 방문하여 서로가 긴밀한 선교협력관계임을 재확인하는 시간을 가졌다.

그 외에도 한국기독교 교회협의회(NCCK)를 방문하여 상호 협력에 대한 의견을 교환하였으며, 찬송가공회를 방문하여 21 세기 한일대조찬송가 출판에 대한 방향과 출판에 관한 협력을 요청하였다. 또한, 대한성서공회를 방문하여 한일대조성서의 재고상황과 일본으로의 선교적 차원에서의 지원과 반입에 대한 협의를 하므로 전망이 밝은 만남을 가졌다.

특히 20 일에는 조찬을 통하여 각 교단 총무회의를 가졌으며, 그 결과 2014 년 9 월 29 일(월)부터 10 월 1 일(수)까지 일본에서 'KCCJ 선교협약 7 교단 선교협의회'를 개최하기로 서로 의견을 교환하였다.

또한 신임원들은 서울에 도착한 첫 날 저녁에 본 교단에서 은퇴한 후 서울 근교에 거주하고 있는 경혜중목사, 이준학목사, 아시아 기독교협의회(CCA) 총무를 역임한 박상증목사를 만찬에 초청하여 위로하고 교제하는 시간을 가졌으며, 서울 체류 중에 한국 예큐메니컬 운동의 큰 지도자였던 강문규선생의 부음 소식을 듣고 모두가 조문을 하고 돌아왔다. 앞으로도 더욱 긴밀한 선교협력이 이루어져 나갈 것을 기대한다.(보고: 편집부)

## <전국 여성연합회> 전화상담

### 색동 / 마음의 케어 공개강좌

지난 2013 년 11 월 29 일(금) 오오사카 교회 3 층에서 전국 교회 여성연합회 전화 상담 국 주최로 「마음의 케어 공개강좌」가 개최되었다. 강사는 백승호변호사(코베교회 장로, 코베 세종 외국법 공동사업 법률사무소)였는데 “DV(가정폭력)법! 한국의 경우와 일본의 경우”를 주제로 열렸는데 참가자는 26 명이였다.



마음의 케어 공개강좌는 전화 상담원을 위한 배움에서 발전하여 일반 대중을 위한 다양한 마음의 케어에 관련된 강좌를 한 달에 한 번 정도로 진행되어 왔다. 여성을 위한 전화상담 창구를 열 때, 일본 여성이 처한 상황, DV 피해자의 케어나 심리 등에 대해서는 배울 기회가 있었지만, 법률 면에서 배울 수 있는 기회는 적었으며, 또한 한국의 상황에 대해서는 모르는 것도 많았기에 충실한 강좌가 되었다.



한국에서의 가정 폭력은 일본의 5 배라는 보고를 듣고 참가자들은 충격을 받아 어떻게든 하고 싶다는 의견도 있었다. 그리고 비록 소수였지만 남자 수강생도 있었으며, 남녀가 함께 생각하고 앞으로 어떻게 대처해 나가야 하는지를 배울 수 있는 기회가 필요하다고 느꼈다. 이하는 참가자들의 음성을 소개한다.

“더 깊은 곳에서의 인간 간의 지배, 인권유린 상태에 대해 배우는 기회가 필요하다고 느꼈다.”

“DV 는 [이 쓸데없는 것이], [(한숨을 쉬면서) 노력하고], [억박지르는] 것이며, [외출을 (무언의 압력으로) 금지하는] 등등의 행위가 일상적으로 있는 것이다. 그 이상성이나 가해자의 인격의 편향에 대해 깊이 생각해 보고, 그 대응을 가르쳐 나가야 할 것이다.” “최근 스토크와 재결합을 위한 살인사건이 너무 많아서 사회가 병들어 있다고 강하게 생각한다.”(보고: 임숙자)

## &lt;서평 / 번역 / 광고&gt;

## 일본인이 본 놀라운 기독교의 나라 한국



2012년에 일본 기독교단 목사인 스즈키 타카히로 목사가 출판한 『왜 한국은 기독교의 나라가 되었는가』(『なぜ韓国はキリスト国になったか』, 春秋社, 2012年)라는 단행본이 이번에 한국에서 『일본인이 본 놀라운 기독교의 나라 한국』(스즈키 타카히로, 김인과번역)이라는 제목으로 콤팩트출판사에서 간행되었습니다.

본 책의 내용은 일본 크리스천의 입장에서 바라본 한국 기독교의 경이로운 발전입니다. 한국 전체의 근세의 역사를 통해서 한국 기독교인의 수가 지극히 짧은 기간 동안에 30 퍼센트를 넘어서게 되면, 이것은 커다란 사회변동이라고 평가되어야 한다는 것입니다. 이 놀라운 사회변화의 중심에 있는 한국의 교회를 일본이 그냥 지나칠 수 없다는 것입니다.

본 책은 다음의 세 가지의 요점을 매우 구체적이고 감동적으로 서술하고 있습니다. 첫째, 한국 기독교의 선교과정을 진지하고 감동적으로, 그리고 연대에 맞추어 체계적으로 기술하고 있으므로 한국 기독교인들에게도 좋은 참고가 되며 큰 은혜가 될 것입니다. 한국 땅에서의 박해의 역사와 더불어 기독교가 들어와서 순교의 피와 식민지시대의 고난, 그리고 동족전쟁과 그 후의 민주화 투쟁 속에서 교회가 전국민의 마음의 고향으로 정착하는 과정을 깊이 있고 정확한 연대 서술로 기록하고 있습니다.

둘째, 우리 교회의 자랑스러운 유산이며 세계교회에 자랑하는 새벽기도와 선교, 그리고 교회의 사회봉사 등이 한국교회의 선교의 원동력이 되고, 놀라운 교회 성장의 엔진이 된 과정을 소개하고 있습니다. 이것은 한국의 크리스천들에게 자신의 교회와 역사와 교회의 소중함을 다시 한번 인식할 수 있는 계기를 만들어주고 있습니다.

셋째, 저자는 일본의 문화와 교회의 환경에서 우리의 한국을 보고 있습니다. 한국을 이해하는 책이지만 일본인이 쓴 책이기 때문에, 일본을 알 수 있다는 점과 일본 선교에 큰 도움을 줄 수 있는 책입니다.

이처럼 반드시 기억해 두어야 할 한국 교회의 여러 역사적 내용들이 체계적으로 정리되어 있으며, 한편 우리의 선교 환경인 일본을 살필 수 있는 좋은 책이라고 생각합니다.

※책이 필요한 분은 김인과목사 (050-232-0925) 에게 연락하세요.

## 동경교회 부목사 및 교육전도사 청빙

동경교회에서 아래와 같이 부목사 및 교육전도사를 청빙합니다.

- 부목사 : 1 명
- 교육전도사 : 약간 명
- 자격조건 : 한국어와 일본어가 가능한 자 (공동)  
일본어 설교가 가능한 자 (부목사)
- 제출서류 (공동) · 이력서 (사진 첨부)  
신앙경력과 봉사경력을 반드시 기입할 것.  
· 자기 소개서 (A4 2장 분량)
- 모집기간 : 2014년 1월 14일부터 2월 8일까지
- 제출방법 : 우편 또는 E-mail (제출 전에 교회로 연락바람)
- 주 소 : 162-0827 東京都新宿区若宮町 24 番地  
E-mail: [guide@tokyochurch.com](mailto:guide@tokyochurch.com)
- 문 의 : 03-3260-8891(사무실)

## 복음신문 자료모집

재일대한기독교회 100주년 집필과 작성을 위하여 역사편찬위원회에서는 자료보관을 위하여 1953-1979년 (70호 - 360호)까지의 복음신문 자료를 모집하고 있습니다. 귀 교회와 각 지방회에 이러한 자료를 보존하고 계신다면 자료모집에 협력해 주시기를 부탁드립니다.

- 보내실 곳 : KCC 역사편찬위원회
- 〒 544-0032 大阪府大阪市生野区中川西 2 - 6 - 10
- Tel 06 - 6731 - 6801 Fax 06 - 6718 - 0988

## 경내건물 신축에 대한 공고

종교법인「재일대한기독교회」규칙 43조에서 정한 수속을 거쳐서 하기와 같이 경내건물 신축을 하게 되었으므로 종교법인법 제 23조의 규정에 의하여 공고합니다.

2014년 2월 1일

종교법인「재일대한기독교회」  
대표의원 조 중 래

1. 건물명칭 : 재일대한기독교회 쓰다누마전도소  
(船橋市前原東三丁目 365番 18、23、37、73)
2. 연면적 : 111.79㎡
3. 이유 : 누후화
4. 경비 : 15,865,000円
5. 시공사 : 一建設株式会社 (千葉県千葉市中央区末広 5-3-5)
6. 계획 : 木造サテライトカラーベストコロニアル葺 2F  
(준공예정일 : 2월 23일)

## 在日コリアン文化の創造と多文化共生社会を目指して、在日本韓国YMCAは皆様と共に歩みます。



東京◆ホテル：東京で一番安く便利な宿泊研修施設。フロントは日・韓・英語に対応、24時間営業。10名様～200名様のお会議及び宿泊研修(50名)も可能。  
・スペースYホール：200席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに対応。  
・韓国文化教室【チャンゴ・カヤグム・舞踊】・韓国語講座・各種こどもクラス  
・YMCA東京日本語学校【3ヶ月～2年、短期研修】

税 込	平 日	休・休前日
シングル	¥6,500	¥6,000
ダブル	¥10,500	¥9,700
トリプル	¥13,500	¥12,500
朝食・コーヒー¥200(宿泊者価格)		

関西◆にほんご教室《新規開講・募集中》韓国民俗芸術科【舞踊・チャンゴ】  
在日本韓国YMCA <http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/> \*会員及び教職者割引有。詳しくはお問い合わせください。  
東京韓国YMCAアジア青少年センター 〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-5-5 ☎ 03-3233-0611  
関西韓国YMCAアジア青少年センター 〒537-0025 大阪市東成区中道 3-14-15 ☎ 06-6981-0782



## <동북 이민자 포럼 2013> 재해 부흥은 다문화 공생에서

2013년 11월 30일(토), “동북 이민자 포럼 2013- 지진 재해 부흥은 다문화 공생에서 -”이 동북학원대학 土樋 캠퍼스에서 개최되었다. 주회는 외국인 피해자 지원 센터(외기협)이며, 공동주회는 동북학원대학 지역 공생기구, 후원은 재일대한기독교회 / 일본 그리스도교회, 동참은 일본 카톨릭 중앙협의회 / 한국 카톨릭 난민이주 이동자위원회 모임 / 일본 기독교 협의회 / 재일 외국인의 인권위원회 / 일본 성공회 / 재일본 한국 YMCA / 관동 외기련 / 홋카이도 외기련 / 이주 노동자와 연대하는 전국 네트워크 / 코베 학생 청년센터 / 반 차별 국제운동 일본위원회였으며, 지금까지 연대를 해 온 단체들이 결집하였다. 회장에는 이와테, 미야기, 후쿠시마현의 이민자 그룹을 비롯한 80 명이 참가했다.



먼저 광기환교수(동북학원대학)가 ‘동일본 대지진과 외국인 / 일본인 주민 간의 관계 - 전해져야 할 것은 무엇이며 변해져야 할 것은 무엇인가’라는 제목으로 기조보고를 하였다. 이 보고에는 동일본 대지진에서 재해 약자로 생각하기 쉬운 외국인의 실태는 구체적으로 어떤 것이었는지를 실제로 면접을 해 온 사람들의 이야기를 소개하면서, 미야기현 이시노마키시와 케센누마시에서의 설문 조사에서 밝혀진 것이나 향후의 과제를 제시하였다.

그 후, 재해지의 외국인 커뮤니티에서 城坂愛(福島県賀賀川市 / つばさ日中ハーフ支援会)、後藤キャサリン(福島県福島市 / ハワクカマイ福島)、Marife Sugawara(岩手県大船渡・陸前高田市 / PAG-ASA)、佐々木アメリカ(宮城県南三陸町 / サンパギータ F.L 多文化協会)、馬嘉利(福島県 / 会津若松市国際交流協会) 등 5 명의 대표를 초청하여 이주 여성을 중심으로 하는 각 커뮤니티들의 활동보고가 이어졌다. 이 보고를 통하여 지진 이후에 어떤 활동들이 이루어지고 있는가가 소개되면서 인력과 자금부족 등 각각이 현재 직면하고 있는 과제에 대하여 솔직하게 이야기 하였다.

이번 포럼에서는 관서와 관동 등 먼 곳에서 많은 연구자, NGO, 교회 관계자들이 참가하였으므로 식사 시간에 각자를 소개하는 교류회도 열렸다. 또한 외국인 커뮤니티를 경청하는 것뿐만 아니라 실제로 대면을 하고 앞으로의 활동을 위해 관계를 만들어 가는 데 매우 중요한 시간을 가졌다.

모든 교류의 시간을 가진 후에 포럼 참가자를 포함하여 전체토론이 진행되었다. 회장에서는 수 많은 질문들이 나왔으며, 또한 보고자들로부터도 많은 의견이 제시되면서 의미 있는 시간이 되었다. 마지막으로 사토 노부유키(외국인 피해자 지원 센터장) RAIK 소장으로부터 “동북 이민자 포럼 선언”이 제안되고 채택되었다.

동일본 대지진으로부터 2년 8개월, 즉 1000 일이 지났다. 그리고 지금도 피해 지역에서 몸부림치고 있는 사람들이 많이 살고 있다.

이번 포럼에서 인상적이었던 말이 있다. 그것은 외국인 커뮤니티 활동보고에서 나온 말이다. “외국인으로서 차별을 받았다고 생각하지 않습니다. 문화의 차이가 있을 뿐이다”라는 것이다. 이것은 일본인과 결혼하여 동북 땅에 오래 살았는데도 자신들이 야유 받는 것을 문화의 차이로 생각하면서 자기자신을 납득시켜야 살아갈 수 있는 상황이 존재하고 있음을 나타냄과 동시에 지금의 일본사회가 외국인을 향한 시선이 어떤 것인가를 명확하게 나타내고 있는 말이었다고 생각한다. 그것들을 불식시키기 위해서는 이민자들만 노력할 것이 아니라, 우리를 포함하여 모두 바꾸어 나가지 않으면 안 된다는 것을 강하게 인식하게 되었다.

그리고 피해지역에서 지난 2년간 꾸준히 중요한 활동을 해 온 외국인 피해자 지원센터의 기능은 외국인과 함께 살아가는 사회를 만들어 나가기 위해서는 매우 뜻 깊은 것이었다.

(보고: 김재원, 카와사키교회 / RAIK 연구원)

\* 외국인 피해자 지원 센터의 활동내용은  
<http://gaikikyo.jp/shinsai/> 를 참조하십시오.

### 신간 예식서 개정판



- 한국어 일본어 대조
  - 모든 예식에 적용
  - 전국 개교회에서도 활용
  - 1권 2,000엔(송료別)
  - 문의: 총회 사무실
- 03-3202-5398

재일 한국인 귀화인 재혼 희망자 전문

### 芦田ルツ결혼상담소

마음과 기도를 다하여!  
あなたを 結婚まで 幸せ に導きます。

대표: 최정숙권사(코베동부교회 권사)

-0012 兵庫県芦屋市朝日ヶ丘町 10-35-504

TEL: 0797-34-6814 / FAX: 0797-38-6868

URL: [www.ar-k.jp](http://www.ar-k.jp) / e-mail: [gen@rehoboth.jp](mailto:gen@rehoboth.jp)



豊かな味、豊かな心。



妻家房

SAIKABO

代表取締役 吳永錫 (東京希望キリスト教会 長老)

四谷本店: 東京都新宿区四谷3-10-25 Tel. 03-3354-0100

## <서부지방회> 제 11 회 신도 모임 오후예배에 대하여 진지하게

2013년 11월 24일 코베교회에서는 서부지방회 신도부 주최로 '제 11 회 신도모임' 이 개최되었다. 개회예배는 김승희목사(니시노미야교회)가 "신령과 진정으로" 라는 제목으로 설교하였다.

그 후에 이현지회장(서부지방회 여성연합회)의 사회로 금번의 주제인 "오후예배에 대하여" 교역자, 장년회, 여성회, 청년회로 나뉘어 그룹 토의를 가졌다. 이미 사전에 각 교회에서 설문조사를 한 자료가 보고되면서 많은 의견들이 나왔다. 그런데 모든 그룹의 공통의견은 오후예배 참석자가 적다는 것이었다. 이번 모임을 통하여 일동은 다시 한번 오후예배에 대한 중요성을 생각하게 되었다. 특히 청년들의 솔직한 의견을 듣는 것은 매우 귀중한 모임이었음을 증명한다.

모임을 마친 후에는 애찬이 시작되어 다른 교회 성도들과의 교제 속에서 맛있는 식사를 하였다. 다른 지방회 교회에서는 어떻게 오후예배를 하고 있는지 논의해 보는 것도 중요한 일이라 여겨진다.

(보고: 유정혜, 서부지방회 여성연합회 서기)



## <2014년 총회수첩 정정>

2014년도 총회수첩 주소록에서 아래와 같이 정정함을 알려드립니다. 부디 수정해 주시기 바라며 잘못 기재된 교회와 여러분들에게 진심으로 사과드립니다. (총회 수첩담당: 허백기목사)

- 船橋教会 長老 御代川太郎→ 三代川太郎
- 東京教会 引退長老 金漢範 携帯電話 080-6437-510 → 080-4637-5108
- 関東地方会 地方会所属教役者 李聖柱 電話番号 +1-425-820-8603 → +1-206-417-3099
- 大阪教会 伝道師 朴喜煥→副牧師 朴喜煥
- 折尾教会 住所 807-0866 福岡県北九州市八幡西区 日吉台 1-2-3 → 807-0001 福岡県遠賀郡水巻町猪熊

## 재일총회신학교

### 2014년 학생모집 안내

본교는 일반 교육을 마친 사람이 기본적인 신학교육을 수료하여 현대의 재일동포 사회의 다양성에 충분히 대응할 수 있는 복음 전도자의 육성을 목표로 하고 있습니다. 재일 선교에 뜨거운 뜻을 가진 일꾼을 찾고 있습니다.

1. 모집인원 : 5년과정 (고졸), 3년과정 (대졸), 1년과정 (타 신학교 졸업자: 전도사 고시를 받기 위해서 반드시 1년 과정을 이수해야 한다.)
2. 지원자격 : ①세례 후 1년 이상인 자. ②재일대한기독교회 정회원 (단, 다른 교단 출신자는 면접 필요) ③전도자로서의 소명감이 있을 것. ④고등학교 일반대학 졸업자 및 타 신학교 졸업자
3. 신청기간 : 2014년 1월 6일 (월) ~ 2014년 2월 10일 (월)
4. 제출서류 : ①입학원서 (본교 소정양식) ②지원 이유서 (400자 3매 이내) ③이력서 (본교 소정양식) ④추천서 (소속 교회의 목사 또는 기관 대표) ⑤최종 학교 졸업증명서 ⑥최종 학교 성적증명서 ⑦사진 2매 (3×4cm)
5. 시험 : ①일시 : 2014년 2월 13일 (목) 오후 1시  
②장소 : 재일 총회신학교 (東京都足立区西新井本町 4-5-1)  
③과목 : 성경, 영어, 면접 ④수험료 : 10,000 엔  
⑤발표 : 당일 (경우에 따라 우편통지)
6. 특전 : ①졸업 후 전도사 고시를 거쳐 재일대한기독교회의 전도사로 2년간 시무 후에 목사고시 자격이 주어짐. ②학비가 싸다 (연간 수업료 : 15만엔). ③총회 장학금 외에 각종 장학금 혜택이 있다. ④기숙사 완비 (매달 약 2만엔). ⑤본국에서의 어학연수 제도와 선교협약을 맺고 있는 해외 교단의 신학교에 유학할 수 있는 기회가 있다.

문의 : 한성현목사 (교무)

전화 03-3890-3365, 휴대폰 080-3355-3890

## 필리핀 태풍피해 모금현황 (단위 : 원)

豊中第一教会 29, 000、長野教会 36, 900、新居浜グレース教会 138, 000、大阪教会 550, 000、和歌山第一教会 219, 096、武庫川教会 70, 710、京都教会 100, 000、つくば東京教会 21, 000、名古屋教会 203, 300、福岡教会 116, 350、三次教会 3, 000、東京中央教会 36, 500、新儀教会 10, 000、布施教会 43, 650、船橋教会 34, 850、品川教会 20, 000、西新井教会 55, 500、名古屋永信保育園 88, 544、博多伝道所 16, 000、堺教会 5, 000、明石教会 10, 000、西宮キリスト弟子教会 5, 000、川崎教会 10, 000、浪速教会 10, 000、新潟教会 5, 000 (總會事務所入金順) 合計 : 1, 832, 844 원



クリスチャン教会・企業検索サイト

レボット・ジャパン

Open!!

10月01日

リニューアル

広告募集開始



「レボット・ジャパン」  
代表 宮本 隆

Tel : 090-3945-3373  
e-mail : info@rehoboth.jp

<http://www.rehoboth.jp>

レボットジャパン

検索

